

## 2014GW 期間中の旅客実績(国内航空会社)

この GW 期間中(4/25~5/6)の旅客実績について、国内各社の発表値をまとめてみた。

**(概観) 中堅3社(ADO、SNA、SFJ)は大苦戦!**

ANA は量(搭乗率を落としながらも、供給増で JAL に対する旅客シェアを拡大)をとり、  
JAL は質(供給を絞って搭乗率向上)をとった形。

SKY は客況回復。

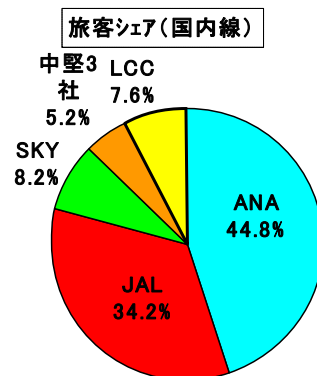
LCC は大幅供給増でシェアを拡大。Peach は格段に高い搭乗率。

1. **国内線**; ANA は+1.3%の供給増で+0.8の旅客増、搭乗率は 63.6⇒63.6%と若干低下。  
JAL は▲2.9%と供給を絞り、旅客は▲1.4%と減ったが、搭乗率は 67.9%まで向上。  
JAL は ANA に 10.6ポイントのシェア差をつけられたが、搭乗率は逆に 4.6ポイント上回った。  
(旅客シェア)ANA 44.8%、JAL 34.2% (搭乗率)ANA 63.3%、JAL 67.9%

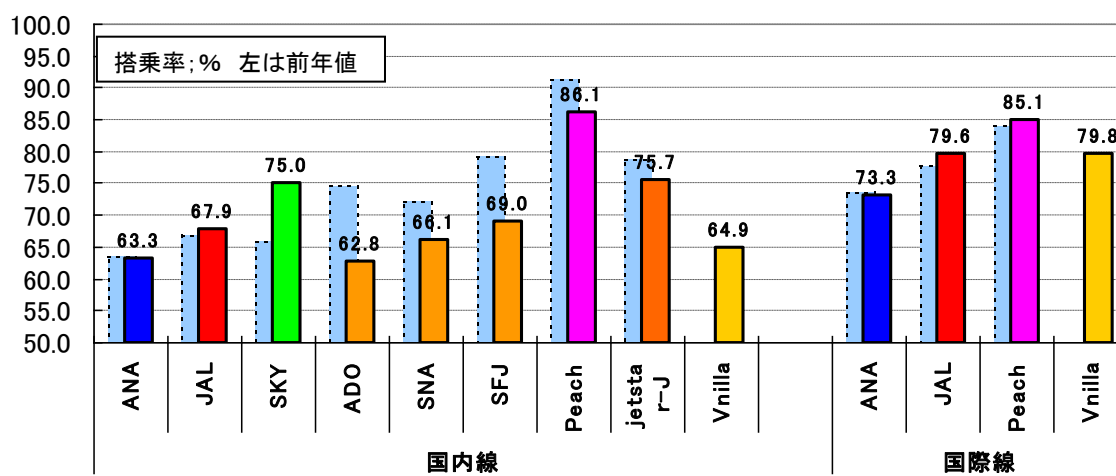
SKY は昨年の低迷から回復し、+36%の旅客増、搭乗率も 75%となった。

逆に中堅3社は、ADO と SFJ は大幅旅客減、SNA も伸び悩み、搭乗率は軒並み大幅低下。

LCC の Peach と Jetstar-J は規模大幅拡大で旅客増、搭乗率は前年より低下したものの、依然高いレベルにある。バニラは伸び悩み。LCC の旅客シェアは 7.6%となった(前年は 5.4%)。



2. **国際線**； ANA は+18%の供給増で+17%の旅客増、搭乗率は低下して 73.3%に。  
 JAL は+2%の供給増で+5%の旅客増、搭乗率は上昇して 79.6%。  
 ANA の旅客規模は JAL に更に接近したが、搭乗率差は拡大。  
 Peach は国際線でも高い搭乗率。



## 《GW》期間中の旅客実績

国内線の搭乗率は、低下した会社が多いものの、高搭乗率のLCCの構成割合が高まったことで平均搭乗率は上昇した。

【国内線】	今期					前年との比較					
	座席数	シェア	旅客数	シェア	搭乗率	席数増	率	旅客増	率	搭乗率差	
	千席	%	千人	%	%	千席	%	千人	%	ポイント	
ANA	2,277	47.3	1,442	44.8	63.3	29	101	11	101	-0.3	
JAL	1,619	33.6	1,100	34.2	67.9	-48	97	-16	99	1.0	
SKY	353	7.3	264	8.2	75.0	59	120	71	136	9.1	
ADO	95		60		62.8	3	103	-9	87	-11.8	
SNA	85	5.2	56	5.2	66.1	8	111	1	101	-6.1	
SFJ	72		50		69.0	-15	83	-20	72	-10.2	
Peach	114		98		86.1	39	151	29	142	-5.2	
jetstar-J	165	6.5	125	7.6	75.7	70	174	50	167	-3.2	
Vanilla	32		21		64.9	-4		-3			
合計	4,812	100	3,216	100	66.8	140	103	114	104	0.4	
【国際線】		千席	%	千人	%	%	千席	%	千人	%	ポイント
ANA	331	43.9	243	41.7	73.3	50	118	36	117	-0.3	
JAL	362	48.0	288	49.6	79.6	8	102	13	105	1.9	
(SFJ)						-6		-4			
Peach	43	5.7	37	6.3	85.1	19	182	17	184	1.0	
Vanilla	17	2.3	14	2.4	79.8	6		7			
合計	754	100	582	100	77.2	77	113	68	113	1.3	

各社発表資料にもとづき JAMR 作成(前年値の一部は増減率から逆算したもの)。

ハニラの前年数値は AirAsia-J のもの。

以上